

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	独語第二		
英文授業科目名	Elementary German II		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	鹿児嶋 繁雄		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kagosima@cc.toin.ac.jp	

【主題および達成目標】
(a)主 題： 現代ドイツ語の読み・書きの初歩。 (b)設定目標： 絵本程度の簡単な文章が読め、旅行に必要な事柄をドイツ語で表現 できるための基礎を学ぶ。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
教科書：中島 悠爾 他 『必携ドイツ文法 総まとめ』（白水社） 参考書：NHK ドイツ語講座のテキスト

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業内容：授業で用いる教材・単語帳はプリントして配布します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

必須項目。

注1：評価方法は、学生が自分の成績評価を確認できるように、(%による表示は必須ではありませんが)極力具体的に示してください。

注2：成績評価の公正さを期するためにも、必ず評価基準を記述してください。評価基準とは、少なくとも単位取得に必要なレベル(可と不可の区別を示す基準)を意味します。より上位のレベルの基準は、必要ならば記述してください。

注3：同一科目を複数の教官が担当する場合、不公平が生じないように、この項目の書き方については、事前に担当者間で十分にご相談の上、記入してくだ

【オフィスアワー：授業相談】

必須項目。

授業内容の理解促進等のために、授業時間外で、学生の質問・相談に応じる時間帯等について記述してください。

(例1)適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

(例2)水曜日 12:00~14:00

(例3)特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

(例)

「もの作り」にたずさわる人にとっては勿論のこと、たとえハードウェアを扱わなくてもシステムの動作原理を理解し、発展させるためには、電子回路の基本を十分理解している必要がある。授業中に一つずつしっかり理解していけば、難しい内容ではない。

【その他】